

2022.06.26.「救世主」悪への答え Mac 牧師

日曜日は、2つの礼拝があり、第一礼拝は通常「聖書預言・アップデート」第二礼拝は通常「聖書の学び」に捧げますが、今日は、2つの説教をします。第一礼拝では、皆さんを旧約聖書の「伝道者の書4章」に招きます。可能な方は、ご起立ください。今朝の箇所を読むのとその後祈りましょう。繰り返しますが、旧約聖書の「伝道者の書4章」1節から3節です。お読みします。

#### 伝道者 4

1 私は再び、日の下で行われる一切の虐げを見た。見よ、虐げられている者たちの涙を。しかし、彼らには慰める者がいない。彼らを虐げる者たちが権力をふるう。しかし、彼らには慰める者がいない。

2 いのちがあって、生きながらえている人よりはすでに死んだ死人に、私は祝いを申し上げる。

3 また、この両者よりもっと良いのは、今までに存在しなかった者、日の下で行われる悪いわざを見なかった者だ。

祈りましょう。今朝の学びに祝福下さるよう主にお祈りしましょう。

愛する天のお父様。あなたの真理の御言葉に感謝します。あなたが御力で私たちの前を行かれ、あなたの御言葉と、それを心に留める者へ共に過ごすこの時間に祝福下さいますように。私たち皆がそこから学び、間違いなく悪であるこんにち、私たちが生きているこの時代に、より良い人生を送り、より良い御言葉の管理者になるよう祈ります。ですから、主よ。繰り返しますが、この機会をどうか祝福してください。あなたの聖霊の御力でここで私たちに出会い、語ってください。救世主イエスの力強い御名によって。アーメン。

着席ください。どうもありがとうございます。今朝の第一礼拝のタイトルは、「救世主が、悪への答え」このようにタイトルをつけたのは、それが真理だからです。私たち皆が同意すべきは、「救世主が、日の下の悪全ての答えである。」

はいそうです。その名はイエス。

イエスはキリスト（救世主）です。油注がれた方で、救い主で、贖い主で、救世主です。

これがクリスチャンとして私たちが信じる事です。

しかし質問があります。神を全く信じない人はどうなるのか？ 今日の学びは、言わば、そういう視点から始めます。そして、これが主が私に先ほど読んだ聖句から始めさせようとなさった理由です。この学びは、いつもとちょっと違う感じになると思います。今朝読んだ聖句を解説するつもりはないからです。

その聖句を、タイトルと学びの目的に使います。この学びで皆さん祝福されるのを願います。

明確にしたいのは、まず、『伝道者の書』に飽和するこの世界観を思い起こすことから始めたいと思います。皆さんの多くがご存知の通り、「伝道者の書」は、おもに神なしの人生の立場から書かれたものです。それがこの光景です。神なしの人生がいかに無意味であるかが結論です。この書は、ソロモン王が書いたもので、彼は地上の女性の中に生まれた、最も豊かで賢い男でした。彼はこの書を人生の晩年に書きました。この『伝道者の書』の中で、最も鋭い問いを投げかけ、このような哲学的な問いは、こんにちも問われています。彼が指摘し続けたのは、人間の知恵、人間の行い、人間の名声、人間の軽薄な生き方、人間の狂気、人間の欲深さ、人の欲望、人間の栄誉、人間の挑戦、そして人間の目的。

そして最後に彼は言います。「その全てがむなしい行為（虚栄心）。」

しかし、すべてが無意味であること以上に、ソロモンを苛立たせる何かがあります。それは、悪が伴っている事。ここで私たちは自問自答する必要があります。

それは、「人間がどうやって悪を決定するのか？」どうやって？ 続くべき質問は、「どうやって人は、自分が決定した悪に対処するのか？」留意いただきたいのは、これらの質問は、歴史の中で問われ、さまざまな形で回答されてきました。しかしすべての答えが、神なしの流行のガラクタです。それは本当に無意味です。それは虚栄心です。全て間違っています。クリスチャンとしてそれがどう間違っているのか、また悪を説明し、悪への答えを説明できるようにせねばなりません。その答えは、今も昔も変わらず、「救世主」です。

今日のタイトルを意図的に「救世主」と使っていますが、理由は、時に教会内で、聖書の中の救世主的メッセージを説明する重要性を忘れていているように思えます。私も同罪です。イエスについて語り、説教することになると私たちは新約聖書を手にします。文句なしにそれを神に感謝しますが、しかし新約聖書は、特に、救世主が誰であるかを説明する際、旧約聖書の重要性を排除するものではありません。このようなことが常に起こるとは限りません。分かっています。しかし私たちは、聖書全体、特に旧約聖書から論ずる準備が必要です。なぜなら、救世主について語るとき 福音のメッセージの根底にある重要な問いを自問するのがよいでしょう。考えてみれば、本当にそうなんです。その問いは

「救世主の必要性を示し、イエスが本当に救世主だと証明するため、人間の墮落と救世主の必要性を証した使徒や初期の弟子達はどこからその情報を得たのか。」

答えは、「旧約聖書」です。皆さん、ここまで大丈夫ですか？

当時、彼らはそうやって（旧約）聖書から論じたのです。私たちは、それを知ることが大変重要です。ご理解ください。私は決して、新約聖書を軽視しているわけではありません。事実、私たちは神の御言葉の全評議会を使うことになると言われています。だから曲解してはならず、そのまま理解せねばなりません。結局、旧約聖書が、悪を扱っている事をそして同時に福音を示している事を私たちは気づかねばならないのです。私たちは、救世主が道であること救世主が答えであることを示すことができるはずで、救世主が答えです。神の御言葉からそれを一貫して知る必要があります。私たちは弟子です。それをできるようにせねばなりません。これが正にイエスがなさる事で、「ルカの福音書 24 章」44 節から 47 節です。神の御言葉をお読みします。

#### ルカ 24

44 そしてイエスは言われた。「わたしがまだあなたがたと一緒にいたころ、あなたがたに話したことはこうです。わたしについて、モーセの律法と預言者たちの書と詩篇に書いてあることは、すべて成就しなければなりません。」

これはイエスが話しておられるのです。

45 それからイエスは、聖書を悟らせるために彼らの心を開いて、

46 こう言われた。「次のように書いてあります。『キリストは苦しみを受け、三日目に死人の中からよみがえり、

47 その名によって、罪の赦しを得させる悔い改めが、あらゆる国の人々に宣べ伝えられる。』エルサレムから開始して、

この箇所からです。分かりますか？ 救世主は、旧約聖書の至るところで予告されていました。繰り返しますが、このことを示す必要があります。でないと、悪に対するこの答えが十字架の前に確立されていたことを示せなくなる危険性があります。既に答えがあったのです。反応ではありません。私の言っている意味が分かりますか？ 多くの人が反応だと考えます。彼らの質問は、

「なぜ神は、罪を持たせ、このような事態を長く待たれたのか。」

ちょっと待ってください。待って、待って、待って。論点がずれていますよ。バックアップです。これは既に確立されていたことです。私たちはそれを示せますか？ 彼らに聖句箇所を見せれますか？ それができるようにならねばなりません。とはいえ今朝のこの学びの第一の目的、唯一の目的ではなく、第一の目的を確認したいと思います。なぜなら、第一の目的はクリスチャンや、言わばベテランのクリスチャン向けではなく、未信者向けだからです。ですから私がこれをアプローチする方法は、トーンが異なるでしょう。同時に、どこにいても未信者の魂への懇願でもあります。皆さんはここにいるかもしれませんが、心を開いて聞かれるのを勧めます。しかし次に進む前に、いくつか前提条件があります。つまり今日ここで話す事を本当に理解するためには、未信者が認めるべき要件があります。もし、あなたの心が鉄で覆われているのなら、何も理解できません。しかし、幸いにも肉片がまだ残っています。

それでは1つ目は、「あなたは、世界に始まりがあったと思いますか？」

それは必須条件です。世界に始まりがあったことを信じないなら、話は進みません。同意しません？

それなら宇宙の連続的なサイクルや悪魔が人の思考に植え付けたあらゆる種類の考えに繋がります。しかし、答えが”はい”なら、次の要件に進めます。

「世の中に悪が存在すると信じますか？」

答えが”いいえ”なら、お〜マジで語り合う必要がありますよ。しかし、ほとんどの人が”はい”と答えるのではないのでしょうか。であれば、最後の要件に進むことができます。

「悪は罰せられるべきだと思いますか？」

どうです？ はい？ ”はい”が正しい答えですよ。クイズに失敗している人もいますね。”はい”それが答えです。そうすると、悪に対する答えとして、私たちの救世主を証し始められます。そもそも救世主が必要だということが、人々に伝わらなければなりません。悪への答えはその必要性であり、それを示さなければなりません。未信者の人へお聞きしたいのが、、最後まで聞いてください。何も決めつけないでください。私たちが質問して、自分で ”はい ”と答えたことに基づいているからです。世界に始まりがあったと言う人、悪がいると信じると言ったあなた、私たちは同意できます。ここから始められます。それが私たちがすべきことで、クリスチャンとして私たちは次のように言われているからです。皆さんもご存知ですよ。「創世記1章1節」に記されています。

## 創世記 1

### 1 はじめに神が天と地を創造された。

ここから始められます。あなたが、始まりがあったと思うなら、私たちもそうだからです。もちろんです。そして、ほとんどの場合、聖書を読んだことがない人でも、この言葉は聖書からだと聞いたことがあると思います。最初の3語、In the beginning/はじめに これは、こんにち科学者たちが実感している事実と同じです。「はじめに始まった。」確かにありました。その始まりの起源は、物理学では説明できません。不可能です。彼らの発想には呆れるばかりです。ナショナルジオグラフィックか、ディスカバリーチャンネルを見ていたんです。何年か前のことです。で、、（主よ助けてください。）彼らは、ビッグバンによってすべてがどのように始まったかという模範を作ろうとしていたのですよ。彼らが話しているのが滑稽で面白くて、、私は見えています。確認してください。こんな感じでした。ナレーターが言います。

「すべてのデータをコンピュータ・システムに入力し、スタートした後、何も起きなかった。しかし、データをもっと再入力したところ、最も驚くべきことが起こった。」だから最初にデータを入れたんでし

よ！ その異常さがわかりますか？ 私たちは、宇宙が創造されたことも、即座に創られたことも知っています。さて、これを天地創造の記述と混同してはいけません。私が言っているのは、私たちが知っている宇宙全体は即座に創造されたということです。再度このことを指摘するため、あらゆる種類の事実に触れられます。しかし、これは科学的な研究ではありません。私は科学者ではありませんが、読むことはできます。そうそう（画面の向こうのあなた）そうなんです。あなたの考えは分かっています。しかし、時間の都合上懐疑的な人たちに 1 つだけ指摘しておきます。これを検討してください。画面は、数種類の数十万光年の直径を持つ渦巻いた銀河です。互いに、何百万光年も隔たっていて、地球から何百万光年、何十億光年も離れた場所、異なる距離です。しかし、そのどれもが同じ螺旋状の形状をしていることに注目してください。そんなことあり得ません。一挙に起こる必要があったのです。例えば、400 億光年先と、10 億光年先とが同じものを持つことはあり得ません。光の順序制御が違ってきます。どちらか一方を先に見ることになり、違って見えるのです。すべてが一度に起こったのです。人間はそれを分かっています。時間をかけて作った暗黒物質なんてないんですよ。ありません。神がなされたのです。神が創造されたのです。あなたが心の中で、そうじゃないと思いたくても、私は何度でも言いますが、神がいるのは誰でも分かっています。神はいないと自分自身を納得させようとするかもしれません。しかし、誰もが神がいることを分かっています。だから彼らは神の御言葉を聞くと怒るのです。神の御言葉は攻撃的だから。書いてある通り。なぜなのか？ 私たちの中に、神の事への反抗心があるから。突っ込みどころ満載の理論があるわけでもありません。神を信じないと言う人は、議論に参加する必要はありません。その必要はありませんよ。一旦、懸念に対処し、会話に入れば、哲学は出ていき消えます。で、神の御言葉であなたに迫ります。私の言葉で何ができますか？ できません。私たちは神の御言葉である熱を携えます。神が創造された。神が現実です。考えてみれば、この結論に至った人も多はずです。私たちの多くは、詩篇 14 篇 1 節から 3 節のこの御言葉を聞かねばならなかったのです。「怒らせる話をしたいですか？」神の御言葉をお読みします。

## 詩篇 14

**1 愚か者は心の中で「神はいない」と言う。彼らは腐っていて 忌まわしいことを行う。善を行う者はいない。**

**2 主は天から人の子らを見下ろされた。悟る者 神を求める者がいるかどうかと。**

**3 すべての者が離れて行きだれもかれも無用の者となった。善を行う者はいない。だれ一人いない。**

全人類で、善を行う者は誰一人いない。善を行う者は誰一人いないということは、すべてが悪だという事です。皆さんついてきていますか？「悪は罰せられるべきだと思いますか？」ん？ 神なしでは、私たち皆が悪だと見なされます。私たちは神へ反逆する者として生まれました。私たちは誰一人として、真の生ける神を信じると告白して生まれてきたわけではないからです。自分たちのやりたいことをやりたい。多くの暗い心に支配されています。留意ください。神を認めたくないのに、なぜか悪を認める大胆さがあります。お～でも、それには理由があるんです。神なしだから、私たちは悪なのです。それが何なのか、私たちはよく分かっています。なぜなら、それが神を欠いていることだからです。だから、それだと判別しやすいんです。でしょ？ 神は私がショッピングモールに入って こう言うのを禁じておられます。「ああ、あなたは黒人ですね。」「え？私ですか？」私は自分が黒人だと分かっていますよ。ポイントは分かりますね？ 悪は悪を認識します。では、その悪の性質はどこから来るのでしょうか？ 私たち皆知っています。アダムからです。人類の墮落はアダムから始まりました。これが、クリスチャンの信仰です。みんな

な悪ですから反論できませんよ。多くの人が、罪の悪の事実を受け入れることに問題を抱えます。いろいろな問題を引き起こします。「なぜ私を罪びとと呼ぶのですか？」と「あなたは悪ってなんだと思いますか？」ここでお手伝いさせてください。「悪は罪で、罪は悪です。」そう思いませんか？ もし、皆さんの誰かが良い罪だと言ったら？ いいえ、良い罪などありません。全て悪です。すべての悪い行いは罪で、すべての罪の行いは悪です。罪は人間アダムの墮落から始まりました。よく聞いてください。アダムが罪を犯して、即座に彼の霊が死にました。それから肉体的な死も始まったのです。言い換えれば、アダムの罪の誕生とともに、人間の霊が死んだのです。わかりますか？ これを知ることはとても重要です。それが問題です。一旦罪を犯すと終わりです。彼の罪は、私たちの責任ではありませんが、私たちは、神との聖なる繋がりが無い肉体の性質を持った子孫なのです。その神聖な霊的な繋がりが、アダムの罪によって断ち切られたのです。では、どうすれば取り戻せるのでしょうか？お～聞いて下さり嬉しいです。今から分かります。しかし、繋がりが断たれたのが問題です。さらに悪くなります。そのたった一度の不従順な行為のせいで、被造物全体が苦しみ、今も苦しみ続けていると言われています。すべてが死につつあります。生まれてくる時も、死ぬために生まれてきます。あらゆることが、宇宙全体が死んでいっています。誰もそれを否定できません。そんなつもりはなかったのです。アダムは永遠のために造られました。永遠に神の御前にいるために。地球のすべては人間が永遠に支配するために造られました。そういうことだったんです。全被造物同様に。しかし再度、私たちは生まれるとき、この肉体的な状態でしか生まれてきません。すぐに年老いて、死にます。これは私にとって、未信者に話すべき重要な証拠です。私たちは、神から生命を維持する霊を与えられています。私たちはそれを与えられています。死ぬとき、「伝道者の書」に記されている通り、その霊が神のもとに帰ります。言わば、神は私たちが丸裸にされたわけではありません。なぜなら人々に伝えるべき証明は、「私たちが生きたい」という事実です。聞いてください。そうでしょ？ 私たちには、「生きたい」という思いがあります。それが何よりの証拠です。ただ生きたいだけでなく、永遠に生きたいのです。私たちは、永遠を求める何かがあります。死が問題です。そんなはずではなかったのだから、問題になるべきです。死は自然ではありません。私たちはいつも、自然の摂理だと言います。神の御心ではなく、そんなはずじゃなかったのです。罪を犯して死が入りました。死ぬ覚悟はできているという声をよく耳にします。悲しいことですが自殺したり、考えられないようなことをする話を聞きます。それはとても悲しく、残念です。でも事の真実は、その人の人生に「生きるのがらい」と思う事情がなければ生きたいと思うようになります。救世主を知れば、生きたいと思えるだけでなく、永遠の命を与えて下さると言わせて頂きます。ですから、あなたが自殺を考えているなら、やめてください。救世主について考えてください。それがあなたに必要です。私たち皆に必要です。人が生きたいと思うのには理由があります。「伝道者の書3章」10節11節にあります。神の御言葉をお読みします。

### 伝道者 3

**10 私は、神が人の子らに従事するようにと与えられた仕事を見た。**

**11 神のなさることは、すべて時になって美しい。神はまた、人の心に永遠を与えられた。しかし人は、神が行うみわざの始まりから終わりまでを見極めることができない。**

これが分かりますか？ 以前にもお話したことがありますが、ここでも注目すべきことがあります。

「永遠が、人の心に与えられた。」

私たちはこれを分かっているのです。ナショナルジオグラフィックや雑誌などにあるあるいは見たことがあると思える最古の出土品にまでさかのぼれば埋葬の儀式や、死後の世界など、すべてを見れます。

彼らは生きたいと願っているのです。エジプトの「死者の書」を彼らがしていた事を見てください。人間には生きたいという願望があります。神がそれを与えられたのです。創造主から与えられ私たちの性質の一部です。これが私たちが生きたいと願う理由です。未信者には、これは逃げられない証拠です。あなたは嘘について言えます。「いいえ、私は違う。」でも自分では分かっています。この聖句箇所 11 節を見てください。

「しかし人は、神が行うみわざの始まりから終わりまでを見極めることができない。」

さあ、どうぞ！ これらは、神の力強い御業です。クリスチャンとしてこの記述やその他からも分かるように、私たちは、神が始めから終わりまでなさったこと全てを知れません。私たちは分かりません。しかし私たちの神は、私たちが必要とする答えを与えられないほど秘密主義者ではあられません。私たちに、必要な答えがすべて揃っているのです。私たちが必要とするすべての答えは、神の御言葉の中に与えられています。一つも欠ける答えはありません。それは、悪に対する答えも含みます。では別の触れてはいけない話題に対処します。真正面から対処する必要があります。このような質問が来るのが普通です。質問は、「そもそも、なぜ神は悪を許されたのか？」

これは、私たちが聖書以外のものであろうとすると、多くの哲学的論争に巻き込まれる可能性がありもっと酷いかもしれません。私たちは、聖書に書かれていること以外で質問に答えようとする主の貧しい証人になりえます。聖書聖句が私たちに示すのです。そのままを伝える必要があります。

「彼らが聖典に書かれていることを受け入れようとしないのなら、何を言えば彼らを変えることができるのでしょうか。」あなたの言葉は、神の御言葉よりもパワフルですか？ やれやれ。その挑戦はいつでも受けて立ちます。神の御言葉を知れば、プレッシャーがなくなります。事実、神が悪を許されたのは、神のみが全貌を知ってますが悪には目的があるからです。以上。

さて悪に対する神の驚くべき答え、それが救世主なのです。しかし、起こるすべての悪しき出来事に関して神はご存知です。神に答えがあられます。神は理由をご存知で、その為の目的があられ、分かっておられます。私たちは、最初から最後まで、神のすべてのご内情を知ることはできない事実は、既に取り上げました。また私たちは、神が私たちに全ての答えを出す義務は全くあられないことも分かっています。彼は神です。私たちはそれを忘れていたのではないのでしょうか。私にとって驚くのは、経営者、監督者、上司、父親、母親が、自分の子どもに何か言えば、すぐに反応してくれると思っている事。

「君には言わないよ。私がこう言っているのだから。」それって私たちにとって全て良いことですね？ しかし神に言うのですか？「なぜ？私はあなたを信じられない。」愚か者です。「イザヤ書 55 章 8 節 9 節」神の御言葉をお読みします。

**イザヤ 55**

**8 「わたしの思いは、あなたがたの思いと異なり、あなたがたの道は、わたしの道と異なるからだ。——主のことば——**

**9 天が地よりも高いように、わたしの道は、あなたがたの道よりも高く、わたしの思いは、あなたがたの思いよりも高い。**

これではっきりします。これでメールの返事ができるはずですよ。どうやって私たちが「無限大」を理解できるのでしょうか？ なぜなら、それが神の御心であり、無限です。人生のあらゆる場面で、「無限大」の意味を知ることができます。しかし、神の事柄以外で。すると私たちは質問したくなる。本当に？

事実、神は無限の所有者です。それ以外のあらゆるものには終わりがあります。私たちはそれを分かっ

ています。因みに、悪も含みますよ。神は、すべてのものを良く創造されましたが、悪を許すというこの概念は、考慮すべき重要な点を見逃されています。それがこうです。もし神が、ご自分に似せて創造した被造物に、ご自分を礼拝し選ぶ事を許されなかったなら愛が存在しないことになります。選択しなければ愛はありません。ロボットですよ。この選択する能力を欠いたところに愛はありません。救世主さえも選ばれました。私たちはそれを認識していますよね？ お～イエスは選ばれました。結婚が決まっていた。しかし、イエスは父の御心を選ばれました。私たちの模範です。では、「悪」の問題をさっと取り上げます。理由は、少なくとも、神には神の道があり、私たちの想像をはるかに超えた理解と英知があらわれるのを理解できるはず。最低でも、この理解で、主が、悪の問題も含め私たちの全問題に対する解決策も持っておられることが分かり、少なくともそう考えることができます。その解決策が、今も昔も救世主だと私たちは知っています。さて先ほど、イエスが弟子たちに、旧約聖書を通してどのように語られたかを見ました。特に、預言者たちによって律法や詩篇にもあります。それでは、旧約聖書には、救世主に関する預言が何百とありますが、そのうちの一つを見てみましょう。初臨・再臨の話ではありません。イエスが、全人類の贖い主であられる話です。なぜなら、他にも色々な預言がありますが今朝は取り組む時間はありません。今朝、何度か意図的に救世主と言ったのは、頭の中を「救世主」の準備する為です。今から見るこの3つの預言は、なぜ私たちクリスチャンが救世主を信じているのかを示します。再び、旧約聖書からです。預言者から始めます。多くの英語の翻訳で、救世主という称号を初めて目にするのは、「ダニエル書9章」です。24節から25節までを読みます。これは、救世主が誕生する500年以上前に、救世主について与えられた預言です。神の御言葉をお読みします。これにお付き合いください。そう、新しい人たちへ話しますので

#### ダニエル 9

24 あなたの民とあなたの聖なる都について、七十週が定められている。それは、背きをやめさせ、罪を終わらせ、咎の宥めを行い、永遠の義をもたらし、幻と預言を確証し、至聖所に油注ぎを行うためである。  
25 それゆえ、知れ。悟れ。エルサレムを復興し、再建せよとの命令が出てから、油注がれた者、君主/救世主が来るまでが七週。そして苦しみの期間である六十二週の間、広場と堀が造り直される。

OK。

最初に聞かれるのは、次のようなことです。「本当にこの聖句を誰かに教えるつもりですか？」

答え：もちろんです。理由があります。なぜなら、私の答えは質問返しです。

「この2つの節からどれだけの質問が生じると思いますか？」どうです？ 彼らの策略だと分かっている、気にしません。問題ですか？ あなたが本当に神を求めるなら、本当に真理を求めるなら、あなたは質問するでしょうから。でしょ？ あなたが真理を知りたくないなら、あなた自身を告発することになります。この意図が分かりますか？これは預言者ダニエルです。(救世主誕生の)500年以上前です。これを話すもう1つの理由は、聖書の標準的な出来事や記述の多くが、世俗的な見解に汚染されてしまっています。そうすると、彼らの心は既にこんな風に決まっていて、「あ～何度もその箇所聞いた聞いた。」ダニエルの声を聞きましたか？ 私に叫ばせてください。違いが分かりますか？ ダニエル書に出てくるような節は、相互作用を変えます。聖書を知っている限り、結果も変わってくるのです。ダニエル書9章24節25節を読んで、何を言っているのか分からない人は、たぶんマズいですね。でも考えてください。ここで議論できることを考えてください。私は、救世主の全時系列を語れるようになりました。また、永遠の義とは何を意味するのかについても。救世主のおかげで、人が神と完全に和解することができる

のを私は、話せます。救世主が、すべての罪を終わらせるということ。救世主のおかげで、私たちは今、真の生ける神との霊的な繋がりを取り戻す機会があるのです。アダムが失くしてしまったものを。これが悪への答えです。どこに向かっているかわかりますか？ お～私たちは満たされた日を送れる。どこにいても。良い事ですね。それが私たちが欲しいものです。皆さんに言います。私たちが聖書を知れば、自分で勉強して認めれば、こういう瞬間が訪れます。私たちは、それを実現するための準備をしなければなりません。よろしい。

「モーセの律法の中の救世主はどうでしょうか？」

聖書の最初の 5 つの書、モーセ五書です。私たちクリスチャンが見る救世主に関する預言について、律法で非常に重要な意味を持つものは何でしょうか。もちろんたくさんありますが、私は始まりの書にももちろん戻り、そこから始めます。私たちがこう言われる箇所です。アダムが罪を犯したとたん、その悪しき問題を抱えるからですね。その問題とは、悪と罪。しかしアダムがそれをするや否や、神は、全人類を贖い、救い主を提供するそのご計画を実行に移されました。救世主は、女の種から生まれる。女には種はありません。こんにちこの話はとても興味深いはず。家族の皆さん、ついてきて！ ー(笑)ー 考えましょう。女の種。私たち誰もが、人類は男性に種があり、女性に卵があるのを知っています。JD 牧師はこの点を強調するため、よくこの話をします。しかしこんにち、これが問われています。私たちににとって有利なことなんです。考えてください。ここで神が仰っているのは、自然に起こる事ではなく、超自然に起こる事です。「処女降誕で救世主が生まれる」私たちはそれを知っています。ですからこの記述を読んで、先ほどの話に戻りましょう。「創世記 3 章 14 節 15 節」神の御言葉をお読みします。

### 創世記 3

**14 神である主は蛇に言われた。「おまえは、このようなことをしたので、どんな家畜よりも、どんな野の生き物よりもろわれる。おまえは腹這いで動き回り、一生、ちりを食べることになる。」**

**15 わたしは敵意を、おまえと女の間、おまえの子孫/種と女の子孫/種の間、置く。彼はおまえの頭を打ち、おまえは彼のかかとを打つ。」**

サタンに種があることにも留意ください。サタンから生まれます。しかし再度、女に種がなければなりません。だから神から授かるという予告でした。聖霊です。それが女の種です。これが始めに与えられた預言です。これが人類に降りかかる悪に対する即答でした。それ以上に分かるのは、救世主は、世の基の前に私たちに与えられたということです。それが「黙示録 13 章 8 節」にあります。世が始まる前に計画されていた。それが神のお働きです。その答えが既にそこにあります。ほぼ全員私たちクリスチャンは、マリアによってイエスが処女降誕したことが完全に成就したと分かっています。私が今の人たちを見ていて凄いと思うのは、一方で、男が子どもを産めると信じていて、しかし、神が預言され、その御言葉通りになさった女性による処女降誕を考えるのが彼らには馬鹿馬鹿しい。誰が馬鹿馬鹿しいのか教えて下さい。これはまさに、神が世の中の知恵を奪って無に帰された例と言えるでしょう。

最後に、「詩篇」の救世主についてです。お～、これは簡単すぎるのでは？ このことは、私は未信者にイエスが実際に十字架につけられたことに関して、まず新約聖書に行ってもらい、イエスが旧約聖書を通して語られる救世主であると言います。「マタイの福音書 27 章 46 節」に、このように記されています。良く知られた箇所です。お読みします。

### マタイ 27

**46 三時ごろ、イエスは大声で叫ばれた。「エリ、エリ、レマ、サバクタニ。」**



これは、「わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか」という意味である。皆さんの多くが知っている通り、これが、十字架上の救世主イエスです。私たちのために何かをしておられます。イエスは、私たちに「詩篇」を指し示しておられるのです。だからこれを仰っているのです。私たちが、イエスが救世主だと分かるように。その「詩篇」は、記述が実現する約 900 年前に書かれました。この実際の箇所は、「詩篇 22 篇」にあります。これは、救世主が十字架につけられることについて大変詳細に語っています。22 篇ののっけからこう始まります。

「わが神 わが神 どうして私をお見捨てになったのですか。」

どうか覚えておいてください。神の御言葉は、救い主が人間と神との和解のために苦難を受けると語っています。これは起こるべくして起こったのです。血を流さなければならなかったのです。聖なる血を。救世主の聖なる血が流されました。イエスが全世界の罪をその身に負われたのです。私たちが神からの永遠の命を取り戻すために。それが私たちが自然に渴望する事です。私たちはそれが欲しいのです。ただし、覚えておいてください。この「詩篇 22 篇」は、救世主が十字架に架かるところで終わっていません。この「詩篇 22 篇」が締めくくするのは、27 節から 31 節にあります。お読みします。

## 詩篇 22

27 地の果てのすべての者が思い起こし主に帰って来ますように。国々のあらゆる部族もあなたの御前にひれ伏しますように。

28 王権は主のもの。主は 国々を統べ治めておられます。

29 地の裕福な者はみな 食べてひれ伏しちりに下る者もみな 主の御前にひざまずきます。自分のたましいを生かすことができない者も。

30 子孫たちは主に仕え 主のことが世代を越えて語り告げられます。

31 彼らは来て 生まれてくる民に 主の義を告げ知らせます。 主が義を行われたからです。

主が義を行われた。完了した。(ヨハネ 19:30)

悪に対処し、勝利したのです。しかし、それは救世主だけが対処され、勝利されたのです。信じない人は、私が説得する必要がないのが、とてもうれしいです。聖霊がその仕事をなさいます。再度、悪が問題です。しかしもっと大きな問題は、今日話した通り、聖句の通り、神なしである事。神なしでは、誰もが悪です。死という悪にさらされます。私たちのイエスにある信仰は、アダムが失ったものを私たちに取り戻して下さった事。それが私たちにある聖なる神への霊的繋がりです。なぜなら神が与えられる聖霊が内に住まわれるからです。神が私たちに聖霊を与えられますが、私たちは(御霊)聖霊によって生まれ変わらねばなりません。「ヨハネの福音書 3 章 5 節から 7 節」神の御言葉をお読みします。

## ヨハネ 3

5 イエスは答えられた。「まことに、まことに、あなたに言います。人は、水と御霊によって生まれなければ、神の国に入ることはできません。

6 肉によって生まれた者は肉です。御霊によって生まれた者は霊です。

7 あなたがたは新しく生まれなければならない、とわたしが言ったことを不思議に思っはなりません。

これが何を意味するかというと、私たちが救世主を信じたとき神の御霊が生まれます。私たちが救世主を信じた時それが起こります。そのつながりが再構築されるのです。私たちにとっての永遠が、主の御前にあります。ですから、救世主が、悪への答えです。質問は、

「あなたは悪へのその答えを受け入れたいですか？」

それとも、神から離れたまま悪に留まることを決意するのですか？ 神なしでは、全てが悪です。救世主が、悪への唯一の答えです。そしてそれが、神が人間に望んでおられる永遠への唯一の道です。これも考えてください。悪は裁かれます。悪は裁かれます。全ての悪が。その中には、真の生ける神を信じていないあらゆる人も含みます。先ほど話しましたね。あなたは悪は滅びるべきだと思いますか？それでは言います。神に属さないあらゆる人が悪です。あなたがどんなに良い人であっても。神が見下ろされ、神の子があなたの上にはないと見なされると悪です。あなたは、あなたが罰せられるべきだと信じるその同じ悪の故に、滅ぼされるでしょう。しかし、その滅びは永遠に続きます。しかし、あなたは永遠の罰に置かれ滅ぼされる必要はありません。神は、私たちが神と和解することを望んでおられます。救世主の良い知らせによって、瞬時に可能です。イエス・キリストの福音とは、キリストは私たちの罪のために死なれ、聖書によると、葬られ、3日目によみがえられた事。救われるのは、ABC というシンプルな方法です。まず自分が悪だと認めることです。それが問題です。

A：自分が神に背いた罪びとであるのを、また自分には救世主が必要であると Admit/認める または、Acknowledge/認識する。ローマ人への手紙 3 章 10 節に書かれています。

「義人（正しい者）はいない。一人もいない。」

ここから引用しているのです。使徒パウロが引用している事で、先ほど読みましたね。「一人もいない。」

ローマ人への手紙 3 章 23 節

「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」

これはつまり、自分たちの思い込みでは誰も神の国に入ることができないという意味です。ローマ人への手紙 6 章 23 節、「罪の報酬は死です。しかし、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命です。」それが A です次が、

B：Believe/信じる。C：Confess/告白する。B・C 共に、ローマ人への手紙 10 章 9-10 節、御言葉をお読みします。

「あなたの口でイエスは主と”告白”し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせた”と”信じる”なら、あなたは救われるからです。」

「人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」救世主の来臨が間近に迫っています。戸口のところに来ておられます。信じていなかった人は、この機会に信じるのを勧めます。神との霊的な繋がりを持ってください。手遅れになる前に。主は御言葉の中で、具体的に次のように述べておられます。「第二ペテロの手紙 3 章 9 節」、

## II ペテロ 3

9 主は、ある人たちが遅れていると思っっているように、約束したことを遅らせているのではなく、あなたがたに対して忍耐しておられるのです。だれも滅びることがなく、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。

私たち誰もが悪なので、受け取るに値しないこの無償の贈り物を拒否しないでください。イエスの義が私たちを救うのです。繰り返しますが、救世主が答えです。イエスがその道です。イエスのご支配が、悪を打ち砕きます。それから離れてはいけません。ご起立ください。祈りましょう。

天のお父様。主よ、あなたのご忠実さにもう一度心から感謝します。主よ。このメッセージがうまく受け取られるよう祈ります。あなたの聖霊が働かれ、私たち全員の心の中で私たちに必要な部分、大多数が取り組むべき部分に、罪を示してくださるでしょう。主よ、どうかそれを私たちの為になさってください。

私たちがより良い管理者となり、御言葉に大胆になり、真理に立ち、動じないよう、私たち自身をあなたへ解放していただきますように。しかし、主よ、あなたを求める者の、分からない者の、答えを問うている者の心を動かしてください。主よ、あなたが答えをご存知です。それがあなた、救世主です。あなたがしてくださったことに、心から感謝します。私たちはあなたを愛し、あなたを賛美します。イエス・キリストの力強い御名によって祈ります。アーメン。

-----  
メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオへ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7